

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和5年1月31日

独立行政法人福祉医療機構

経営サポートセンター長 坪井 七夫

経営サポートセンター コンサルティンググループ

グループリーダー 菅野 雅之

担当 久保田 (電話) 03-3438-0236

(FAX) 03-3438-0371

2021年度(令和3年度)決算

障害福祉サービス《居住系サービス》の経営分析参考指標の概要について

独立行政法人福祉医療機構では、福祉医療貸付事業の債権管理の一環として、毎年度、融資先からご提出いただく財務諸表等を基に、社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設等の経営状況について経営分析参考指標として集計・分析しています。

このたびは、2021年度(令和3年度)決算に基づく障害福祉サービス《居住系サービス》の経営分析参考指標の概要について、公表いたします。

〈経営分析参考指標〉 <https://www.wam.go.jp/hp/guide-keiei-keieiga-tabid-1976/>

1. 調査の概要

■調査時点	毎年1回(決算データ)	
■集計施設	共同生活援助	1,783施設
	(介護サービス包括型)	1,579施設
	(日中サービス支援型)	65施設
	(外部サービス利用型)	139施設
	居住複合型(施設入所支援・短期入所・生活介護)	446拠点
■調査目的	機構融資先の債権管理の一環	

※経営分析参考指標(2021年度決算分)(有料)の頒布については、現在予約申込受付中です。

2. 2021年度決算の概要

＜共同生活援助＞

- 利用率は86.2%と前年度より0.5ポイント低下した。
- 利用者1人1日当たりサービス活動収益は9,366円と前年度より171円上昇した。
- サービス活動収益対人件費率は64.5%と前年度より0.2ポイント低下したが、サービス活動収益対経費率等の上昇により、サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は3.9%と前年度より0.6ポイント低下した。

＜居住複合型(施設入所支援・短期入所・生活介護)＞

- 施設入所支援は、利用率が94.8%と前年度より0.1ポイント上昇し、利用者1人1日当たりサービス活動収益が7,150円と前年度より349円上昇した。
- 短期入所は、利用率が37.3%と前年度より4.6ポイント上昇し、利用者1人1日当たりサービス活動収益が10,048円と前年度より326円上昇した。
- 生活介護は、利用率が89.4%と前年度から横ばい、利用者1人1日当たりサービス活動収益が12,916円と前年度より230円上昇した。
- サービス活動収益対人件費率は63.2%と前年度より0.3ポイント上昇した。
- サービス活動収益対サービス活動増減差額比率は9.4%と前年度より0.3ポイント低下した。